

## 16. 形成外科

### 1. GIO(一般目標)

形成外科研修は、選択科目として、外科系研修の一部として扱う。

主として、皮膚腫瘍や、熱傷後、外傷後の瘢痕などに対する皮膚表面外科、骨折を含む顔面の外傷や先天性疾患、手の外科、下腿潰瘍、褥瘡、レーザー治療やケミカルピーリングなど、美容外科に属する処置、手術、乳房再建を含む悪性腫瘍手術後の再建など、形成外科診療に必要な基本的知識や主義の習得を目指す。

### 2. SBOs(行動目標)、4. Ev(評価)

	行動目標(SBOs)	研修方法	評価方法(EV)
身体的診察法			
	熱傷面積、深達度の判定、所見の記載	実習、講義	加評価、口頭試問
	顔面外傷の診察、所見の記載	実習、講義	加評価、口頭試問
	褥瘡の診察、所見の記載	実習、講義	加評価、口頭試問
	皮膚腫瘍の診察、所見の記載	実習、講義	加評価、口頭試問
	顔面の先天性疾患の診察、所見の記載	実習、講義	加評価、口頭試問
基本的な臨床検査			
	単純X線検査(特に顔面骨)	実習、自習	観察、口頭試問
	CT, MRI検査	実習、自習	観察、口頭試問
	病理組織診断	実習、自習	観察、口頭試問
基本的手技			
	熱傷の局所処置の実施	実習	観察、口頭試問
	局所麻酔法(浸潤、伝達)の実施	実習	観察、口頭試問
	皮膚切開、排膿法の実施	実習	観察、口頭試問
	止血法(圧迫、結紮、電気凝固)の実施	実習	観察、口頭試問
	愛護的な皮膚縫合法の実施(埋没縫合を含む)	実習	観察、口頭試問
	丁寧な抜糸の実施	実習	観察、口頭試問
基本的治療法			
	熱傷深達度に応じた外用薬物治療	実習、講義	口頭試問
	褥瘡の状態に応じた外用薬物治療、処置の実施	実習、講義	口頭試問
	褥瘡のリスクアセスメントを行う	実習、講義	加評価、口頭試問
	植皮術、皮弁術の適応と特徴の理解	講義、自習	口頭試問
頻度・緊急度の高い症例			
	切創、挫創	実習	観察
	挫滅傷、挫傷	実習	観察
	顔面の腫脹(打撲、骨折)	実習、講義	観察
	皮膚化膿性炎症	実習	観察
	皮膚潰瘍	実習、講義	観察、口頭試問
	皮膚良性腫瘍(粉瘤、黒子など)	実習、講義	観察、口頭試問
経験すべき症例			
	A) 熱傷	担当医として実習	加評価、口頭試問
	A) 顔面骨骨折	経験	口頭試問
	B) 皮膚良性腫瘍	経験	口頭試問
	B) 皮膚悪性腫瘍	経験	口頭試問
	C) 表在性色素性皮膚疾患	経験	口頭試問
	C) 外表面先天奇形	経験	口頭試問
	C) ケロイド・肥厚性瘢痕	経験	口頭試問
	B) 褥瘡	担当医として実習	加評価、口頭試問
	C) 陥入爪	経験	口頭試問
	C) 美容(ピアス、重瞼など)	経験	口頭試問
	A) 皮膚潰瘍(静脈性、糖尿病性)	経験	口頭試問

(A) 入院患者を受け持ち、診断、検査、治療方針について症例レポートを提出する事。

- (B) 外来診療、または受け持ち入院患者（合併症を含む）で自ら経験する事。
- (C) 機会があれば経験すべき症例
- (D) 自ら実施し、結果を解釈できる事。
- (R) レポートを提出する事。

### 3. LS (方略)

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
担当医	徳岡医長	新井医長	新井医長	徳岡医長	徳岡医長	徳岡医長
8:45-9:00	今週の研修目標 今日の予定確認	今日の予定確認	今日の予定確認	今日の予定確認 病棟回診、症例検討	今日の予定確認	今日の予定確認
9:00-12:30	外来診療 フットケア または 専門外来の実習 病棟処置の実習	外来診療 または 病棟処置の実習	外来診療 森口特任部長 専門外来 □唇顎・口蓋裂の 実習	外来診療 または 病棟処置の実習	手術 全身麻酔 見学・助手	外来診療 または 病棟処置の実習
昼休み						
13:30-16:30	外来診療 または 病棟処置の実習	外来診療 または 病棟処置の実習	手術 局所麻酔 見学・助手 術前カンファ レンス	ホコプラスチック専 門外来の実習 病棟処置の実習	手術 全身麻酔 見学・助手	
16:30-17:30		講義・自習	講義・自習	講義・自習	今週の まとめ	

付記 熱傷患者を経験し、診断、局所及び全身管理の習得を目指す。

- 褥瘡、および皮膚潰瘍患者は必ず経験し、診断、局所及び全身管理の習得を目指す。
- 手術に際して、術前の学習（解剖、手術手技）を行い、積極的に助手を務める。
- 熱傷の診断と治療。 担当；徳岡医長（ 月 日）
- 褥瘡予防（褥瘡リスクアセスメント） 担当；徳岡医長（ 月 日）
- 褥瘡保存的治療（褥瘡局所アセスメント） 担当；徳岡医長（ 月 日）
- 顔面外傷の診断と治療（画像検査、手術） 担当；徳岡医長（ 月 日）
- 皮膚腫瘍の診断と治療 担当；徳岡医長（ 月 日）
- 皮膚縫合（特に埋没縫合） 担当；徳岡医長（ 月 日）

#### ○カンファレンス、講義等

##### 1) 術前カンファレンス

今週の手術患者の症例検討…初診時までの経過、症例写真、検査から、診断、治療計画（手術）

##### 2) 症例検討

術後患者、入院患者の症例検討

### 5. その他

短期間、選択科として形成外科学を研修する初期研修プログラムである。

創傷や熱傷、顔面骨骨折など、一般救急で遭遇する疾患に対して、診断と治療方法の習得を目指すこと。  
皮膚縫合・埋没縫合など形成外科の基本的主義を、患者の治療を通して習得するよう努力すること。